

各 位

2025年12月11日
株式会社イクヨ(証券コード:7273)
代表取締役社長 孫 峰

サステナブル・ラボ株式会社と業務提携及びコンサルティング契約を締結
—「財務 × 非財務 × AI」に基づく分析フレームを、M&A を含めたインオーガニック戦略向
けに再設計し、企業価値向上を推進—

当社は、日本で唯一のサステナビリティに特化した非財務ビッグデータ集団であるサステナブル・ラボ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:平瀬鍊司、以下「サステナブル・ラボ」)と、業務提携及びコンサルティング契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

1. 業務提携の背景

当社は、新たな成長戦略として自動車部品事業から、M&A・事業投資を通じた事業ポートフォリオの拡大(いわゆるインオーガニック戦略)へと舵を切っております。この戦略転換により、直近1年(2024年11月30日～2025年11月30日)で3.5倍程度の企業価値成長を実現しました。

市場では、買収後の成長性・収益性・資本効率(ROIC、FCF)や株価マルチプルに対して、人的資本・ガバナンス等の非財務要素がどのように寄与しているかを説明することが、長期投資家・機関投資家の信認形成において極めて重要性を増しております。

一方で、足元では米国トランプ政権における、いわゆる「反ESG」的な動きなどを背景に、世界的にESG投資やサステナビリティへのスタンスについて、さまざまな議論が起きています。当社としては、中長期では、人的資本・ガバナンス・知的資本・環境といった非財務情報を正しく測り、開示し、活用することが持続的かつ本質的な企業価値成長に繋がり、また市場での信認形成において追い風となると見込んでおります。

こうした背景を踏まえ、データサイエンス × サステナビリティ × 金融工学領域の専門家集団であり、時価総額5,000億円超の企業向けに高度な分析フレームを提供してきたサステナブル・ラボと業務提携及びコンサルティング契約を締結することで、「財務 × 非財務 × AI」を統合的に扱う分析基盤を、当社のM&Aを含むインオーガニック戦略に特化して再設計(以下「本プロジェクト」)いたします。

サステナブル・ラボは、国内外の金融機関や大手企業、自治体など、多様なプレーヤーに非財務データ基盤や非財務分析サービスを提供してきた実績を有しており、国内の非財務データ市場においてリーディングポジションを築いているプレーヤーの一社です。こうしたリーダー的なパートナーと連携することで、当社のインオーガニック戦略・企業価値向上ストーリーを、機関投資家や長期投資家に向けデータに基づき分かりやすく示していく基盤を整備してまいります。

2. 業務提携(包括的業務提携契約)の主な内容

両社は、本提携を通じて以下の協業を進めてまいります。

(1) 非財務情報・ESG・人的資本関連データ及び分析ノウハウを活用した共同事業開発

- ① サステナブル・ラボのデータ資産と分析知見
- ② 当社の事業ポートフォリオ・顧客基盤

(2) 両社顧客への共同提案、クロスセル、共同マーケティング

(3) その他、両社の企業価値向上に資する協業領域の検討・推進

3. コンサルティング契約の主な内容

サステナブル・ラボは、当社のインオーガニック戦略強化に向けて、以下のコンサルティング支援を提供します。

(1) 定量的な可視化(Quantification)

- ① 当社のM&A・PMIに関連する非財務指標(人的資本、ガバナンス等)と業績・株主価値の関係性を定量的に可視化
- ② 機関投資家との対話に耐えうるエビデンスベースの分析を実現

(2) 運用可能な仕組みづくり(Operationalization)

- ① モニタリング指標セット(社内KPI)及び開示ストーリーを設計
 - ② 四半期ベースで運用できるダッシュボード・開示テンプレートを構築し、継続的なPDCAサイクルを確立
-

4. 本プロジェクトの目的と期待される効果

本プロジェクトでは、企業価値の源泉である非財務情報を財務データと統合し、M&A・インオーガニック領域における「コネクティビティ分析」の枠組みを当社向けに最適化します。

最終的なゴールは、単に「非財務要素がどれだけ効いているか」を示すことではなく、“市場から信頼されるインオーガニック巧者の新生イクヨ”としてのモニタリング及び開示の型を確立することにあります。

これにより当社は：

- (1) 投資家との建設的な対話を促進するエビデンスベースの説明
- (2) 社内のM&A実行力を継続的に高めるPDCAサイクルの構築
- (3) 長期的な企業価値向上を支えるガバナンス体制の強化

に加え、財務・非財務の両面から企業価値向上ストーリーを一貫して示すことで、株式市場からの中長期的な評価向上を目指してまいります。

当社はサステナブル・ラボとともに、非財務データを活用した新たな価値創造アプローチを確立し、持続的な企業価値向上を実現してまいります。

5. 当社業績への影響

本件による今期業績に与える影響は軽微であると判断しております。なお、今後公表すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

6. 株主の皆さまへのメッセージ

これまで当社株式は、主に個人投資家の皆さまに広く保有いただき、長年にわたり当社の成長を支えていただいてきました。あらためて、日頃のご支援に心より感謝申し上げます。

当社は、時価総額 200 億円規模の現在のステージから、さらに一段上の成長と企業価値向上を目指しています。そのためには、従来からの個人投資家の皆さまとの信頼関係を大切にしつつ、年金基金・投資信託・保険会社などの国内外の機関投資家の皆さまからも、中長期的な視点でのご理解とご支持をいただくことが重要だと考えています。

今回のサステナブル・ラボとの業務提携・コンサルティング契約は、「イクヨが、どのような会社を、どのような考え方で買い(投資し)、その結果としてどのように企業価値を高めていくのか」を、財務情報と非財務情報の両面から、データに基づき分かりやすく見える化していくための第一歩です。

個人投資家の皆さまにとっても、「イクヨの M&A・インオーガニック戦略がどのような将来像につながるのか」「人的資本やガバナンスへの取り組みが、将来的に株式市場でどのように評価されうるのか」を、これまで以上に具体的な数字とストーリーでお伝えしていくようになることを目指しています。

当社は、本プロジェクトを通じて、個人投資家・機関投資家を問わず株主の皆さまとともに、中長期的な企業価値・株主価値の向上を実現してまいります。

【サステナブル・ラボ株式会社について】

サステナブル・ラボ株式会社は、データサイエンス、サステナビリティ、金融工学の専門家で構成された、日本で唯一の非財務ビッグデータ集団です。独自開発の非財務データベース「TERRAST(テラスト)」を活用し、金融機関・企業・自治体に対し、非財務情報を可視化・分析・評価する高度な分析ソリューションを提供しています。

時価総額 5,000 億円超の大手企業から国内外の機関投資家、銀行、自治体まで幅広い支援実績を有し、非財務データ市場におけるリーディングプレーヤーとしてのポジションを確立しつつあります。今後も、非財務データを活用した新たな価値創造に取り組んでまいります。

会社名:サステナブル・ラボ株式会社

所在地:東京都千代田区大手町 1 丁目 6-1 大手町ビル 4 階 FINOLAB 内

代表者:代表取締役 平瀬鍊司

事業内容:企業の非財務情報プラットフォームの提供および非財務を含めた企業価値評価に係る研究開発

URL: <https://suslab.net/>

以上

【当リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社イクヨ ストラテジックデザイン部

Email:mail-ikuyo@ikuyo194.co.jp